

備前市施策評価シート

【平成31年度作成】

施策名 (小項目)	賑わいをもたらす観光の振興	決算書 P148	(款)7 商工費 (項)1 商工費 (目)3 観光費
コード	05-07-28	作成者	産業観光課長 芳田 猛 (tel 64-1832)

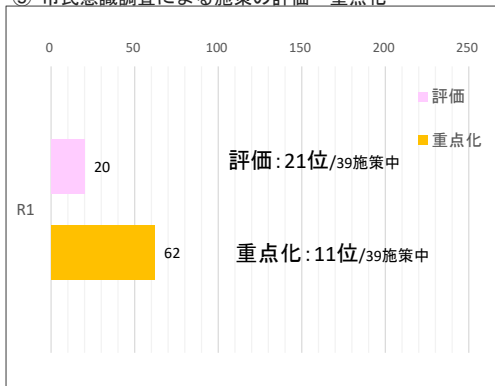
この施策の アピール ポイント	豊富な観光資源により誘客を行っている。
-----------------------	---------------------

この施策の 平成30年度の 施政方針	賑わいをもたらす観光の振興につきましては、2つの日本遺産の観光資源を最大限活用し、観光産業の活性化や販路拡大に努めてまいります。官民包括連携協定に伴う株式会社ストライプインターナショナルによるストライプマルシェ、株式会社モンベルによるアウトドアイベントを検討・開催するなど、観光客の長期滞在型、宿泊型観光を推進してまいります。また、関係団体と連携して、観光客が市内を周遊するために必要な周辺整備に取り組んでまいります。観光客のおもてなしについては、市民自らが、ふるさとを自慢できる知識を身につけていただき、市民とともに備前市の魅力発信に努めてまいります。
--------------------------	---

<備前市総合計画の内容から記載する>

① 政策の体系	基本構想 (大項目)	生活環境政策 (快適・活力)
	基本計画 (中項目)	地域の活力を生む産業を振興させるまち
② 対象と目的 (誰のために、何のために)	市民、観光事業者、観光関連団体、観光客等を対象に、観光振興による地域活性化を推進し、活力あるまちづくりを目的とする。	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の 問題点を抽出)	日本遺産である「旧閑谷学校」と「備前焼」、また、ご当地グルメとして「カキオコ」などは、全国的にも知られているところですが、観光客の数は年々減少傾向にあります。本市の観光客の特徴として、観光バスやマイカーを利用した広範囲を移動する日帰り・通過型の観光が主流となっていることから、近隣市町と連携を図りながら周遊型や体験型・学習型観光への誘導を図ることが必要です。今後の本市の観光振興では、本市を訪れる観光客に、市民自らが、ふるさとを自慢できる知識を身につけることが重要です。	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 地域の魅力を生かした長時間滞在型、宿泊型観光の推進 観光情報の発信 おもてなしの心による受け入れ態勢の充実 多様な観光ニーズへの対応 体験型修学旅行の誘致 	

⑤ 市民意識調査による施策の評価・重点化



評価結果の分析	市民生活に直結した施策への関心度が高いため、観光振興への評価が低くなったと考えます。
---------	--

重点化要望の分析	評価結果とは反対に重点化要望が高いのは、観光振興による地域活性化への期待が高いものと考えます。
----------	---

⑥ 施策成果指標 (基本目標・基本施策・施策意図から設定)

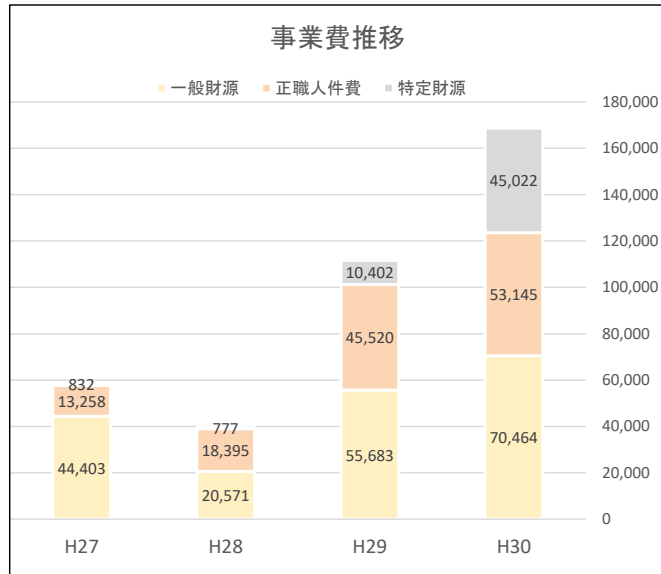
施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H28	H29	H30				
市内観光施設の入場者数	目標	千人	1,000	1,000	1,000	岡山県観光客動態調査報告値 (市内観光施設及び主要イベント集客数)	R2	1,100
	実績	千人	920	778	850		R4	1,200
	達成率	%	92.0	77.8	85.0			
観光ボランティアガイド登録者数	目標	人	50	50	50	観光ボランティアガイド登録者数	R2	60
	実績	人	36	37	43		R4	70
	達成率	%	72.0	74.0	86.0			
備前市観光フェイスブックの閲覧数	目標	数	31,012	34,000	37,000	フェイスブック延べリーチ数 (平成28年リーチ数31,012を基準)	R2	25%増
	実績	数	31,012	56,309	76,144		R4	30%増
	達成率	%	-	1.7	2.1			
観光ボランティアガイド利用者数	目標	回	10,000	10,100	11,600	観光ボランティアガイド利用者延人数	R2	20%増
	実績	人	10,002	10,584	8,353		R4	30%増
	達成率	%	1.0	1.0	0.7			

⑦ 目標達成に必要な新規事業 (施策構成事業以外の事業) 及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
文化振興課	歴史・文化施設等の整備	歴史文化基本構想に基づく歴史文化施設の整備等により誘客を図ることができる。
社会教育課	文化スポーツイベント	広域的に実施する文化スポーツイベントを連携して実施することにより誘客を図ることができる。
日生・吉永総合支所	各観光施設の整備・維持管理	観光施設の適正な整備・維持管理を行うことで誘客を図ることができる。

⑧ 施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断	理由 (なぜ、そのランクと評価したのか)
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	4	観光施設の入場者数を把握・分析することにより、観光客誘客の施策展開に必要な指標であり、成果指標として妥当である。	
2 <事業構成の適当性> 手段は最適か?	3	観光施設の維持管理、PR活動、関係団体への補助など、観光振興には、各種事業が必須であり適正である。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	日本人観光客の誘客では、指標を達成することは困難であることから、観光資源の洗い出しとブラッシュアップ、インバウンド対策としての受け入れ環境整備を実施することにより、外国人観光客の誘客を図ることで中長期的には達成する見込みです。	
進行年度 (H31年度) の取組内容 (課題解決状況)		映画「ハルカの陶」の全国上映を契機に、ロケ地を観光資源として、備前焼振興及び観光客誘客に努めます。また、2020年のオリンピックに向けたインバウンド誘客を図るためトイレの洋式化や観光案内所、案内板の環境整備を検討・実施します。また、環境スポーツイベントを実施し、備前市の自然美をPRすることにより観光客の誘客増を図ります。	
翌年度 (R2年度) の取組目標		備前観光協会の事務局を伊部地区に移転するための支援を行い、観光の玄関口 (中心) として、PR活動や情報発信に努めます。また、備前焼陶友会や観光協会の組織・連携強化を推進いたします。	
二次評価者コメント		近年、本市への観光客は減少傾向にありますが、元々優れた観光資源を多数有しており、有効活用による誘客が期待されています。特に今年度は映画「ハルカの陶」の公開が近づいており、その効果が期待されていることから、その活用方策について検討し効果に繋げましょう。また経済効果の面から滞在型・宿泊型観光につながるようインバウンド誘客やスポーツ、農業水産業、陶芸などの体験型観光等新たなコンテンツの定着を目指しましょう。観光協会等各団体との連携や組織強化も重要課題です。しっかり取り組みましょう	基本施策への 貢献度 4 やや高い
役職	産業部長	氏名	平田 惣己治



事業費
特定財源

1.7 億円
0.5 億円

